

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.22
平成28年2月24日

西門の扉を開けるためにーA君の優しさに感謝

2月18日(水)、午後からの出張に出かけるため、西門の門扉を開けようと車を止めました。いつもなら運動場で遊んでいる子たちの中に、わたしの車に気が付く子がいて、門扉を開けてくれます。この日は、運動場には子ども達の姿は一人も見られず、遠く離れた朝礼台付近に男子児童が一人いただけでした。

当然のことながら自分で門扉を開けようと車を降りた直後、目の前に突然、4年生のA君が現れたのでびっくりしました。おそらく、A君は、「誰もいないから、ぼくが開けなきゃ!」と、全速力で走ってきてくれたのでしょう。

「ありがとう、A君!」と、声をかけて出張先に車を走らせました。

「何とよく気が付く、優しい子が多いのだろう」と、車中でさっきの光景を思い浮かべながら、A君の素早い動きと優しさに感謝しました。

スクールガード情報交換会より

今年度から始まったスクールガード活動の情報交換会が、2月18日にありました。本校のスクールガード活動は、「できるときに、できる場所で、できる方法で」というのが基本原則ですが、どんな天候の日でも、子ども達の安全な登下校のために、毎日、活動してくださっている方もおみえです。本当に頭が下がります。ありがとうございます。

今までの活動を通してお気づきの点や危険箇所等のお話をいただいた後、体育館で5・6年生が、感謝の気持ちを込めて、卒業式の合唱曲「そのままの君で」をプレゼントしました。

合唱後、体育館を後にするスクールガードのみなさんの中には、感動のあまり、涙を流されている方もいらっしゃいました。合唱を通して少しでも感謝の気持ちをお伝えできれば幸いです。

全校朝礼の話ー2/22(中日新聞投稿欄より)

掃除は「創白」広がる輪

和田ひろみ 学校公務員

(岐阜県郡上市) 53歳

中日新聞の投稿欄の記事より紹介します。「わたしの勤める学校のグラウンドや体育館は、夜間や休日ともなると、大会や練習試合などで多くの方が出入りします。どなたが始められたのか、そのトイレには、かわいいリサイクルフィルムや袋に包まれたトイレトーパーが増えていきつつあります。『今日は体育館を使用させていただきましてありがとうございます』

『いつもお世話になっています。大会でトイレを使用させていただきます』と書いて自分の団体名を末尾に記したメッセージカードが添えられています。』

その学校の子供たちは、愛校心を持ち、感心するほど黙々ときれいにしてくれる子たちがいるそうです。その学校では掃除を「創白」と呼んで、校長先生の背中を見て、なんとゴミ拾いをしながら登校してくる子たちもいるそうです。

「素晴らしい子供たちです。見えない相手への感謝や、施設や地域を守ろうとがんばる子たちの思いのこもった活動にエネルギーを得ます。わたしも、その輪につながっていきたいと思います」とも書かれていました。

桜小のみなさんも、進んでゴミを拾って、学校をきれいにしましょう。

